

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科						
科目名	ブラッシュアップ英語 I						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1単位	開講時期	2年次前期		
必修・選択の別	選択必修科目						
担当者	高野裕子(非常勤)						
授業の到達目標 (シラバスから)	(1)日米の大学生活や文化の違いに関する理解を深める (2)正しく読める、正しく聴ける、相手とうまくコミュニケーションがとれるスキルを養う						
日程と内容	(1) 4/7 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 (2) 4/14 Unit 1: On-Campus Facilities (3) 4/21 Unit 1: On-Campus Facilities (4) 4/28 Unit 2: Classroom Expectations (5) 5/12 Unit 2: Classroom Expectations (6) 5/19 Unit 3: Roommates Wanted (7) 5/26 Unit 3: Roommates Wanted (8) 6/2 Unit 4: Tutoring (9) 6/9 Unit 4: Tutoring (10) 6/16 Unit 5: A Blind Date Disaster (11) 6/23 Unit 5: A Blind Date Disaster (12) 6/30 Unit 6: Marriage Announcement (13) 7/7 Unit 6: Marriage Announcement (14) 7/14 Unit 7: Chemistry (15) 7/21 定期試験 (16) 7/28 Review: 学力到達度確認演習						
成績評価基準	定期試験	40%	実技				
	臨時試験	30%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	30%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	2回の講義が終る毎課した計6回のレポートで、学生達は日米の大学生活や文化の違いをそれぞれに表現しているので、到達目標(1)の達成%はかなりあったと思われる。に反して(2)の「正しく読める」はかなり手強いようで、リスニングでは何となくわかる内容も、読み込めないときが多かった。						
反省点	エクスキューズではないが、語学の授業としては100名前後の受講生数は多すぎるのが難点で、一人一人にかかる時間をもっととれば、質問等をしてその理解度をサポートできるのだが...それができないのが残念である。						
来年度の計画	上記で問題点とした「クラスサイズ」が来年度もまだ改善されていなければ、当方としては今年度と同様大変な作業となるのだが、学生には授業内容に関するレポートをたくさん書かせ、一人一人にコメントを付ける事で、彼らの語学学習へのモチベーションを図りたいと思う。						
授業評価アンケートに対するコメント	全体的に、「全科目の平均値」より「アンケート平均値」のほうがやや低いという結果を、自分なりに分析して、来年の授業に臨みたい。						
履修登録者数	87名	定期試験 受験者数	59名	合格者数	49名	合格率	83%